

## 令和4年度事業計画

### 1. 基本方針

新型コロナウイルス感染の第6波が発生し、いまだ収束の兆しが見えない状況の中で、我が国の経済は、ほとんどの人が経験したことがないような社会情勢が続いています。

今後においても、新型コロナウイルス感染症の動向や社会経済情勢が極めて不透明であり、将来を予見することが難しい状況であります。新型コロナウイルス感染症の動向や影響を考慮したうえで事業に取り組んでまいります。

雇用環境の変化によって新規入会会員の減少、コロナ禍による受注減少、さらに、令和5年10月1日からインボイス制度(適格請求書等保存方式)が導入される予定であり、シルバー人材センターを取り巻く環境は、一層厳しさを増すものと考えられます。

改めて、基本となる会員の加入促進及び就業機会の拡大に努めるとともに、会員・役職員相互の連携を深めながら円滑な運営に努め、公益社団法人として、信頼される体制づくりに引き続き努めてまいります。

### 2. 基本計画

- (1) 就業機会の拡大
- (2) 会員の拡大
- (3) センター事業の普及・啓発活動
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業
- (5) 安全・適正就業の推進
- (6) 関係機関団体との連携強化

### 3. 実施計画

#### (1) 就業機会の拡大

公共団体、民間企業、一般家庭及び関係団体等に対し、シルバー人材センターが果たす社会的意義と役割について理解を得ることにより、就業機会の拡大を図り、会員の希望に応じられるよう多様な就業機会の開拓に努めます。

- ① 一般家庭に新聞折り込みチラシを配布
- ② 市広報誌への記事掲載
- ③ 就業開拓部会員による、賛助会員への開拓訪問
- ④ 市の出前講座の活用

#### (2) 会員の拡大

会員の拡大は、シルバー人材センター事業の機能強化のための土台となるものであり、その存在意義や社会評価につながるものであることから、重点事項として取り組みます。

- ① 新聞折り込みチラシを活用した会員募集
- ② 会員一人が一人の会員獲得運動
- ③ いきいきシニアクラブスポーツ大会に出向きパンフレットを配布
- ④ 退会防止に向けた取り組み

(3) センター事業の普及・啓発活動

シルバー人材センター事業の意義や理念、仕組み、活動内容等を地域社会に広く周知し、センターに対する理解と支援が得られるよう、次の普及啓発活動を推進します。

- ① 「シルバー越前市」を発行し、市内全戸配布
- ② 女性部会を中心とした施設慰問
- ③ 奉仕活動の実施
- ④ 会員ふれあい作品展（趣味の作品展示）
- ⑤ 親子体験学習・三世代交流事業「一緒に遊ぼう」の実施
- ⑥ シルバーショップ「ある座」の活用

(4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

人手不足分野、現役世代を支える分野での業務において、高齢者を活用することを通じて就業促進を図っていく上で、適正就業の推進、就業形態の多様化に対応するため、請負・委任形態に加え、派遣・有料紹介を含めて就業機会の拡大を目指す国の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を推進し、事業の拡大に取り組んでいきます。

(5) 安全・適正就業の推進

身近なところで事故が起こらない限り「自分には関係ない」「自分だけは大丈夫」と思い込み、経験値から来る過信となり、体力は以前と比べ衰えているという自覚が欠けていたことにより事故になるケースがあります。「自分の安全は自分で守る」という意識を高めるとともに、事故防止対策を徹底して「事故ゼロ」を目指していきます。

- ① 「安全だより」の発行
- ② 福井県シルバー人材センター連合、安全・適正就業委員会による安全パトロール
- ③ 市と連携し、健康診断の積極的受診と健康管理
- ④ 安全・適正就業講習会の開催

(6) 関係機関団体との連携強化

関係行政機関、福井県シルバー人材センター連合や県内各シルバー人材センターとの連携を密にし、シルバー事業を円滑に推進し、センターの充実発展に努めます。また、福井県シルバー人材センター連合主催の会議・研修などを通じて県内各シルバー人材センターとの連携強化を図ってまいります。

- ① 令和5年10月から実施される消費税のインボイス制度への対応として、会員への周知やシルバー事業継続に則した制度となるように、全国シルバー人材センター事業協会・福井県シルバー人材センター連合と連携した取り組み
- ② 福井県シルバー人材センター連合が実施する技能講習への取り組み協力
- ③ 全国シルバー人材センター事業協会・北信越シルバー人材センター連絡協議会・福井県シルバー人材センター連合が行う事業への参加